



集いの場再び。



立地を活かし、今年5月よりキャンパスサイトとしての利用が始まった学面会館。代々、ここは強歩大会の休憩地点として利用される場所だが、新型コロナウイルスによる制限が緩和された今、同窓生をはじめ人々の集まれる新たな場所として期待される。裏表紙にも紹介記事を掲載

【撮影：中村ジーナリン(高59回)】

目次

◇ 「日々雑感」 同窓会長 林 健幸(高34回) …… 2	◇ 「ごあいさつ」 学校長 鈴木 義祐(高34回) …… 2	◇ 令和4年度総会報告 他 …… 3	◇ 「会長杯」ゴルフ/囲碁/将棋 大会結果報告 …… 4・5	◇ 会務報告・決算報告等 …… 6・7	◇ 令和4年度協賛金受入状況 …… 8・9	◇ 4地区・各支部からの報告 …… 10・12	◇ お悔み・叙勲 …… 12・13	◇ 母校は今 …… 13・17	◇ ① 人事異動	◇ ② 令和4年度進路一覽 進路指導部から	◇ ③ 令和4年度大会結果一覽	◇ ④ 大会結果 新聞ピックアップ	◇ OB・OGは今 第2回 …… 18・19	◇ 学面会館 キャンプサイトについて 協賛お願い趣意書 …… 20
----------------------------------	-----------------------------------	--------------------	-----------------------------------	---------------------	-----------------------	-------------------------	-------------------	-----------------	----------	--------------------------	-----------------	-------------------	------------------------	--------------------------------------

同窓会ホームページはこちら↓
過去の会報もご覧いただけます



日々雑感

同窓会 会長

林 健幸 (高34回)



日ごろは会津
高校同窓会の活
動にご理解と支
援を賜り有難う
ございます。一
言ご挨拶申し上

げます。同窓会やPTAの役員を何年か務めているので、入学式や卒業式にここ数年参加していますが、本年の入学式での一番の話題は男女比が1.1に逆転したことでした。昨年は同数でしたのでいつかはと思っていたのですが、実際に数字を見ると我々(中高年の卒業生)からすると隔世の感が強くあります。各地域さん、支部さんにてこの話をすると同じ思いの諸先輩方がいらつしやるようです。もともと、高校受験ぐらいの年代では、女性の方が日ごろからコツコツと努力をする傾向があるといわれているので、この傾向は今後も続くかと思われまます。今から来年の入学式が楽しみです。

さて、今年5月からコロナも5類に移行し、普段の日常に徐々に戻りつつあります。本年6月、4年ぶりに京都府会津主催の金戒光明寺での、戊辰戦争殉難者の慰霊祭に出席してきました。前回は松平容保公の石像の除幕式

が行われ、それ以来でしたので、本当に久しぶりの京都地元役員ばかりではなく、招待者を迎えての慰霊祭でした。新城前同窓会会長(高21回)、千葉宏顧問(高8回)も同窓会としてではないのですが、ともに参列してまいりました。また近畿圏内に住む若い同窓も参加しており、その活躍を伺い目の当たりにし会津高の良さを再確認いたしました。昨年も剣道部に在籍された先輩で、教育関係に関わる方が未だ金戒光明寺に訪れたことがないのとこのことで伺いました。お祭りの日程で6月の京都ばかりでしたので錦秋の京都のお寺さんを回り、その素晴らしさに改めて観光地としての京都の実力を感じました。我々が在学の時には墓前で白虎隊の剣舞は行われていませんでしたが、今年の修学旅行でも金戒光明寺の西雲院さんにて、剣舞の奉納がなされると聞いております。この一文を読んだ諸先輩もお時間があればご覧下されればと思います。冒頭述べました、会津高校の共学の在り方ですが、私が所属する会津の歴史関係の団体で、鶴ヶ城再建50年の際に、院内御廟で剣舞を奉納いただいた際には、女生徒の吟詠でした。同窓会としまして、これからも男女とかの枠を超えた活動を行ってまいりますので、今まで以上の高配を賜るようお願い申し上げます。

ごあいさつ

校長

鈴木 義祐 (高34回)



母校の校長として3年目になりました。私自身、会津高校生時代は、志望大学の合格と部活

動での全国大会入賞を目標に、高校生活の充実にも努めたものと懐かしく思い出しておりますが、幸いにしてそれらの目標を叶えることができたのは、当時の先生方の熱心な御指導と、同窓会をはじめとする関係の皆様御支援の賜と深く感謝しております。

さて、現在の会津高校は、地域を代表する進学指導拠点校として、校是である「好学愛校」と「文武不岐」を大切に、会津に根ざし、仲間と手を携えて社会に貢献するグローバルリーダーを育成する学校を目指しています。生徒達は、会津高生としての気概を持って、進路希望と充実した高校生活の実現に向けて日々精進しています。昨年度末(今春)の大学受験では、東北大学、県立医科大学、東京藝術大学等の難関大学をはじめ、それぞれが進路希望の実現を果たしました。また、昨年

度の部活動においては、陸上競技部が、U-18陸上競技大会男子5000m競歩で全国5位入賞を果たし、端艇部が全国高等学校選抜ボート大会に3種目で出場しました。文化部等でも弁論、百人一首、将棋の3部門が全国高等学校総合文化祭出場を果たしました。また、合唱部は、全国合唱コンクールで11年連続の金賞と3位相当の青森県教育長賞受賞、NHK全国学校音楽コンクールで3位相当の銅賞受賞と、2つの全国コンクールで見事な実績を残しました。さらに、吹奏楽部が念願の東北大会出場を果たすなど、多くの部活動が東北大会に駒を進めることができました。これらの活躍が本校関係者にも大きな力を与えてくれたことは言うまでもありません。

今年度も、先輩に負けじと多くの生徒が自身の目標達成に向けてがんばっています。そして、新入生の女子生徒数が初めて男子生徒数を上回り、会津高校も新たな時代を迎えたことを実感しております。

我々教職員一同、気持ちを新たに、一丸となって教育活動に取り組んでまいりますので、引き続き同窓会の皆様御支援、御協力をよろしく申し上げます。

令和4年度 総会報告

新型コロナウイルス感染拡大防止の
為、令和2年度、令和3年度
は総会が中止となっていた
が、3年ぶりの通常開催の同
窓会総会が開催された。

令和4年9月11日(日)、
ワシントンホテルで150余
名の参加で行われた。

総会に先立って、10時30分
より母校「やすらぎの碑」前
にて、この1年間の物故恩師、
会員ご冥福を祈って献花式が
行われた。



1、総会 (12時30分)

黙祷、校歌斉唱、会長挨拶
後、母校校長(鈴木義祐様・
高34回)、PTA会長(日下
七重様)、会津若松市長のご
挨拶を頂き議事に入った。議
長は当番、小野公久氏(高35
回)が選任された。

議事では令和3年度会務報
告、会計決算書と監査報告が
あり、全会一致で了承され、
続いて令和4年度の事業計
画、会計予算が提案され全会
一致で承認された。

今回は林会長が就任して初めての通
常開催の総会でもあり、会長、副会長、
副幹事長を壇上で紹介した。

2、記念講演 (13時30分)

塩見清仁氏(高30回・株式会社は
とバス社長)が「ポストコロナにおけ
るはとバスの経営戦略」と題して、新
型コロナ感染拡大防止の時期に如何に
危機を乗り越えたか・・・等をご講演
いただいた。

3、懇親会 (15時15分)

林会長挨拶後、会津若松市長、小熊
衆議院議員、菅家衆議院議員の祝辞、
大越在京同窓会会長の乾杯発声で祝宴
盛会。中締めは福西正樹副会長(高32
回)により会津高校同窓会の発展と出
席の皆様のご多幸とご健勝を祈念して
三本締めで締めくくり閉会とした。



前号よりお伝えしておりますように、広告
の掲載はホームページのみとなっております。
それに伴い、料金が改定されました。

協賛企業様は年間を通して随時募集して
おります。お気軽にお問い合わせください。

《第53号編集委員会》

○委員 長	渡部 恵未里	
○委員	中村 ジーナリン	
○幹事 長	星 宏	
○校内 主任	森田 信	
○会 計	伊藤 顕	
○校内 担当者	齋藤 正志	羽曾部 修章
	春日 智志	五十嵐 敦至
	小松 順衛	佐竹 正徳
	遠藤 紀通	
《印刷》	有限会社 田中印刷	

◆料 金：10,000 円

◆掲載期間：掲載開始より1年間

◆受付期間：随時募集

◆申込方法

掲載をご希望の方は、同窓会事務局まで
お問い合わせください。

◆掲載特典：

ホームページをお持ちの企業様は
広告よりリンクが可能です。

◆お問い合わせ：

会津高等学校同窓会事務局 (会津高等学校内)
〒965-0831 福島県会津若松市表町3番1号
TEL：0242-28-0211 FAX：0242-28-6680

同窓会ホームページはこちら↓
協賛広告について
のお知らせ



第14回 会津高校同窓会 「会長杯」ゴルフコンペ 開催

◆日時 2023年5月5日(金・祝)
◆場所 会津磐梯カントリークラブ
◆天候 晴れ
◆参加数 168名

同窓のみなさま、ありがとうございました

個人優勝 左雨 齋さつき ひとし
(高39回)



会津高校同窓会長杯ゴルフコンペには、数年前から同級生の伊藤喜之君(高39回)からお誘いを受け、参加させていただいておりました。今回は思いがけずこのような賞をいただき、かつこれだけの規模のコンペでは生涯初めてのことであり、大変嬉しく思っております。ゴルフというスポーツは、年齢や性別の違いを超えて同じコースで楽しむことができる素晴らしいスポーツです。今回同組でラウンドした同級生とも、「毎年このコンペで会おう、諸先輩のように60代70代になっても毎年参加しよう」と声をかけられているところですので。これからも健康に留意しゴルフを楽しんでいきたいと思えます。

最後に、企画運営をしてくださった事務局のみなさま、賞品を提供いただいたスポンサーのみなさま、ありがとうございました。



※同窓会ホームページにもこの他写真を掲載しております。

団体の部

優勝 32回卒 長澤 和幸
佐藤 友信
湯浅 英哉
藤藤 守文
齋藤 守 武晃
角 藤 久津 光俊
佐藤 鈴木 清市
鈴木 阿城 幸雄
久木 太田 孝隆
猪俣 鈴木 樹
鈴木 大竹 秀修
大佐 藤越 大和
畔部 渡部 博士
滝内 笹原 幸英
内木 塚 弘夫
鈴木 原 靖泰
塚原 泰

準優勝 27回卒 3位 16回卒

個人の部

優勝 幸雄 志治 護生 信浩 寿
優準 左雨 幸直 泰盛 英友 忠一 恒一 守政 亮哲 基洋 正
3位 雨澤 田邊 條田 浅藤 谷川 幸男 明 哉 英太 夫 裕 一
4位 長太 渡東 満湯 佐長 笹内 木本 賢 一
5位 左長 太渡 東満 湯佐 長笹 内木 本 賢 一
6位 雨澤 田邊 條田 浅藤 谷川 幸男 明 哉 英太 夫 裕 一
7位 左長 太渡 東満 湯佐 長笹 内木 本 賢 一
8位 雨澤 田邊 條田 浅藤 谷川 幸男 明 哉 英太 夫 裕 一
9位 左長 太渡 東満 湯佐 長笹 内木 本 賢 一
10位 雨澤 田邊 條田 浅藤 谷川 幸男 明 哉 英太 夫 裕 一
11位 左長 太渡 東満 湯佐 長笹 内木 本 賢 一
12位 雨澤 田邊 條田 浅藤 谷川 幸男 明 哉 英太 夫 裕 一
13位 左長 太渡 東満 湯佐 長笹 内木 本 賢 一
14位 雨澤 田邊 條田 浅藤 谷川 幸男 明 哉 英太 夫 裕 一
15位 左長 太渡 東満 湯佐 長笹 内木 本 賢 一
16位 雨澤 田邊 條田 浅藤 谷川 幸男 明 哉 英太 夫 裕 一
17位 左長 太渡 東満 湯佐 長笹 内木 本 賢 一
18位 雨澤 田邊 條田 浅藤 谷川 幸男 明 哉 英太 夫 裕 一
19位 左長 太渡 東満 湯佐 長笹 内木 本 賢 一
20位 雨澤 田邊 條田 浅藤 谷川 幸男 明 哉 英太 夫 裕 一



会津高校同窓会「会長杯」 第12回囲碁・第10回将棋大会開催

◆◆◆◆
 日 時 2023年5月5日(金・祝)
 場 所 北の森(喜多方市)
 天 候 晴れ
 参加 人数 27名



令和4年5月、喜多方市に「北の森」という囲碁・将棋サロンの開設され、県内外の愛好者から人気の会場となったので、本会もそこを会場として開催しました。

その建設・管理者は喜多方市の眼科医 伊藤陽一先生(高25回)で、大会開催にあたっては、諸々のご協力をいただきました。大会主催者としては感謝感謝で、参加者も碁盤将棋盤など沢山の設備と会場の雰囲気満足でした。

囲碁大会について

21人の参加があり、A(四段以上)、B(三段以下)に分けて、それぞれハンデイ戦5回を実施しました。最年長は平出さん(高3回)。最若年は鈴木さん(高46回)でした。

多くの方々の協賛品をご褒美に皆さん熱く楽しく盛り上がっていました。

千葉 宏(高8回)

将棋大会について

いつもの馴染みのメンバーが今年も元気に顔を合わせられたこと

新設「北の森」を会場に大会を開催!!



にとりあえずホッとしながら和やかな雰囲気対局開始まで雑談を・・・しかし、いざ対局が始まるとみんな真剣そのもの。やはり勝負事は多少熱くなければ楽しくありません。

初心者だからと遠慮して「観る将」(将棋を観戦だけして楽しむファン)に徹していた石原康嗣さん(高30回)も対局に引っぱり出し、駒落ち(ハンデイ)戦で皆、大いに盛り上がりました。

高木厚成(高60回)



【囲碁の部】

Aグループ(四段以上)

- 優勝 鈴木 仁孝(七)高56回
- 2位 伊藤 陽一(四)高25回
- 3位 稲田 盛夫(七)高7回
- 4位 渡部 憲(四)高16回
- 5位 樋口 尤治(四)高17回

Bグループ(三段以下)

- 優勝 平出 達朗(三)高3回
- 2位 鈴木 良助(三)高13回
- 3位 佐藤 紘一(三)高13回
- 4位 穴沢卯三郎(三)高5回
- 5位 戸川 兼一(三)高20回

【将棋の部】

Aグループ(有段者)

- 優勝 佐竹 貞夫 高27回
- 2位 高木 厚成 高60回
- 3位 渡部良一郎 高27回

Bグループ(級位者)

- 優勝 神山 広志 高21回
- 2位 白井 章夫 高28回
- 3位 安田 茂 高19回

令和4年度 会津高等学校同窓会一般会計決算書

令和4年7月1日より令和5年6月30日まで

収入総額 6,392,299 円
 支出総額 4,109,785 円
 差引残高 2,282,514 円

収入内訳 (単位:円)

科目	予算	決算	比較増減	備考
繰越金	3,270,551	3,270,551	0	前年度繰越金
入会金	1,175,000	1,160,000	△ 15,000	5,000円×232名
協賛金	2,400,000	1,829,190	△ 570,810	
雑収入	50,000	132,558	82,558	ご祝儀・利息等
繰入金	100,000	0	△ 100,000	
合計	6,995,551	6,392,299	△ 603,252	

支出内訳 (単位:円)

科目	予算	決算	比較増減	備考
事務局費	200,000	42,008	△ 157,992	文房具、役員名刺代
事業費	200,000	64,722	△ 135,278	囲碁将棋大会、ゴルフコンペ
総会費	200,000	264,355	64,355	ポスター・チラシ等
会報発行費	700,000	1,016,870	316,870	会報印刷・発送費
会合経費(地元外)	500,000	647,587	147,587	在京総会旅費、ご祝儀
会合経費(地元)	100,000	54,481	△ 45,519	支部総会等
慶弔費	20,000	10,000	△ 10,000	花環代
卒業記念費	400,000	173,160	△ 226,840	卒業証書ファイル代
会議費	100,000	179,300	79,300	役員会会場費等
通信費	100,000	48,400	△ 51,600	メール便代、切手代等
HP作成管理費	300,000	255,200	△ 44,800	HP運用費
基金	1,175,000	1,160,000	△ 15,000	入会金
手数料	90,000	124,227	34,227	協賛金振込手数料等
雑費	300,000	69,475	△ 230,525	広告代等
予備費	2,610,551	0	△ 2,610,551	
合計	6,995,551	4,109,785	△ 2,885,766	

会計幹事 福島 健一 (高45回)

令和4年 会津高校同窓会特別会計決算書

令和4年7月1日より令和5年6月30日まで

1. 会報委員会会計決算書

収入総額 3 円
 支出総額 0 円
 差引残高 93,473 円

○ 収入の部 (単位:円)

前年度繰越金	93,470	
雑収入	3	決算利息
合計	93,473	

○ 支出の部 (単位:円)

なし	0	
合計	0	

差引残高 93,473 円は次年度会計へ繰り越します。

2. 会報合本積立金

合計	180,088	定期預金 9 件
----	---------	----------

会報委員会会計 伊藤 颯 (高校 46 回)

3. 名簿委員会会計決算書

収入総額 739,519 円
 支出総額 0 円
 差引残高 739,519 円

○ 収入の部 (単位:円)

前年度繰越金	739,513	
雑収入	6	預金利息
合計	739,519	

○ 支出の部

なし

差引残高 739,519 円は次年度会計へ繰り越します。

名簿委員会会計 千葉 宏 (高校 8 回)

令和4年度 会務報告

(R 4年7月1日～ R 5年6月30日)

令和4年

中止 県職員親睦会
 7月1日(金) 会津美里支部総会
 7月21日(木) 会計監査
 中止 河東支部総会
 中止 坂下支部総会
 8月6日(土) 第1回役員会、第1回定例幹事会
 9月11日(日) 令和4年度同窓会総会
 9月11日(日) 物故会員追悼慰霊祭
 9月11日(日) 同窓会報第52号発行・発送
 中止 南会津支部総会
 9月24日(土) 戊辰殉難者秋季祭典
 " 白虎隊士秋季墓前祭
 中止 市役所職員同窓会総会
 中止 下郷支部総会
 11月5日(土) 関西同窓会総会
 11月20日(日) 塩川支部総会
 " 関西同窓会総会
 中止 湯川支部総会
 11月23日(水) 猪苗代支部総会
 12月13日(火) 役員会

令和5年

2月9日(木) 役員会
 3月1日(水) 第75回卒業式、会長杯各大会案内発送
 下旬 母校離任者送別会
 4月10日(月) 令和5年度入学式
 4月15日(土) 在京同窓会総会
 4月23日(日) 戊辰殉難者春季祭典
 4月24日(月) 白虎隊士春季墓前祭
 4月28日(金) 母校着任者歓迎会
 4月30日(日) 会津美里支部総会
 5月5日(金) 第14回ゴルフ大会
 " 第12回囲碁大会、第9回将棋大会
 5月20日(土) 北海道同窓会総会
 5月23日(火) 会報委員会
 5月27日(土) 第2回定例幹事会
 中止 中部地区同窓会総会

令和4年度 会津高校同窓会 基金会計決算書

令和4年7月1日より令和5年6月30日まで

収入総額 26,372,621 円
 支出総額 2,225,000 円
 差引残高 24,147,621 円

収入の部 (単位:円)

前年度繰越金	25,212,291	
繰入金	1,160,000	同窓会入会金(5,000×232人)
雑収入	330	預金利息(普通預金74,定期預金256)
合計	26,372,621	

支出の部 (単位:円)

全国大会出場激励金	1,015,000	合唱、かるた
学而ホール排水管修繕費	924,000	
校内Wi-Fi機器増設工事費	286,000	
合計	2,225,000	

差引残高 24,147,621 円は次年度会計へ繰り越します

基金会計幹事 古川和則 (高41回)

財産目録

普通預金 9,000,329 円 (会津商工信用組合)
 定期預金 15,147,292 円 (会津商工信用組合)
 計 24,147,621 円

会計監査報告書

令和5年7月21日15時00分より会津高校小会議室において、会津高校同窓会「一般会計」「基金会計」「会報委員会会計」「名簿委員会会計」について会計担当者の説明を聴取し、関係帳簿及び証拠書類の照合を実施したところ、適正に執行されていることを認めます。

令和5年7月21日(金)

監事: 近藤尚人 (印)
 宮澤洋一 (印)

令和5年度 事業計画 (R5年7月1日～R6年6月30日)

令和5年

未定 県職員親睦会
 7月15日(土) 坂下支部総会
 7月21日(金) 会計監査
 7月22日(土) 河東支部総会
 7月28日(金) 南会津支部総会
 8月5日(土) 第1回定例幹事会/役員会
 9月10日(日) 令和5年度同窓会総会
 9月10日(日) 物故会員追悼慰霊祭
 9月10日(日) 同窓会報第53号発行・発送
 9月24日(日) 戊辰殉難者秋季祭典
 " 白虎隊士秋季墓前祭
 未定 市役所職員同窓会総会
 未定 下郷支部総会
 11月初旬 関西同窓会総会
 11月中旬 塩川支部総会
 11月中旬 湯川支部総会
 11月中旬 猪苗代支部総会
 12月中旬 役員会

令和6年

1月中旬 役員会
 3月1日(金) 第76回卒業式、会長杯各大会案内発送
 下旬 母校離任者送別会
 4月8日(月) 令和6年度入学式
 4月中旬 在京同窓会総会
 4月23日(火) 戊辰殉難者春季祭典
 4月24日(水) 白虎隊士春季墓前祭
 4月下旬 母校着任者歓迎会
 4月下旬 会津美里支部総会
 5月5日(日) 第15回ゴルフ大会
 " 第13回囲碁大会、第11回将棋大会
 5月中旬 北海道同窓会総会
 5月下旬 会報委員会
 5月下旬 第2回定例幹事会
 未定 中部地区同窓会総会

令和5年度 会津高等学校同窓会一般会計予算(案)

令和5年7月1日より令和6年6月30日まで

収 入

(単位:円)

	5年度予算	4年度予算	比較増減	備 考
繰越金	2,282,514	3,270,551	△ 988,037	前年度繰越金
入会金	1,185,000	1,175,000	10,000	5,000円×237名
協賛金	2,000,000	2,400,000	△ 400,000	
雑収入	50,000	50,000	0	利息等
繰入金	100,000	100,000	0	広告代等
合 計	5,617,514	6,995,551	△ 1,378,037	

支 出

(単位:円)

	5年度予算	4年度予算	比較増減	備 考
事務局費	100,000	200,000	△ 100,000	事務用品代、役員名刺代等
事業費	200,000	200,000	0	学校事業補助
総会費	300,000	200,000	100,000	同窓会総会補助
会報発行費	1,100,000	700,000	400,000	印刷費、郵送代
会合出席(地元外)	700,000	500,000	200,000	在京・関西・中部・北海道
会合出席(地元)	100,000	100,000	0	支部等総会・墓前祭
慶弔費	20,000	20,000	0	花環代
卒業記念費	300,000	400,000	△ 100,000	卒業記念品、卒業証書用ファイル代
会議費	200,000	100,000	100,000	役員会会場費等
通信費	100,000	100,000	0	郵送代、切手等
HP作成管理費	300,000	300,000	0	管理費
基金	1,185,000	1,175,000	10,000	入会金
手数料	130,000	90,000	40,000	協賛金振込手数料
雑費	200,000	300,000	△ 100,000	各種広告代等
予備費	682,514	2,610,551	△ 1,928,037	
合 計	5,617,514	6,995,551	△ 1,378,037	

※科目間の流用は会長一任とする

4地区からの報告

在京同窓会

昨年の3年ぶり総会に引き続き 令和5年度在京会高同窓会総会を開催

幹事長 鈴木 忠正 (高15回)

4月15日(土)11時から上野精養軒で、令和5年度在京会高同窓会総会を開催いたしました。当日は前日からの降雨が続き、新幹線利用で参加予定だった同窓生が運転見合わせの影響で欠席などもありましたが、参加者は3年ぶりとなった昨年よりも多い90名(同窓生、来賓、学生含む)が参加して予定通り開催することができました。今回の総会は同窓会執行役員・事務局に加え、高33回の方々が中心となって運営に当たりました。

第1部の総会は佐藤光利副幹事長(高27回)の進行で、大平隆司副会長(高15回)の開会挨拶に続いて校歌斉唱へ。昨年はマスク着用・黙唱でしたが、今年は元応援団長の鈴木忠正(高15回・現幹事長)のリードで会津中学・高校の校歌を声高らかに熱唱しました。その後、大越会長(高13回)、母校の鈴木義祐校長(高34回)のご挨拶に続いて、議長の芳賀克己副会長(高16回)の進行で議事に入りました。令和4年度会務報告・会計報告・監査報告、並びに令和5年度の事業計画案・予算案が提案・承認され、最後の役員改選案も満場一致で承認され、荒井伸吉副会長(高17回)の閉会挨拶で終了しました。小休憩を挟んで第2部へ。目黒雅之氏(高33回)の進行で、東京大学教授の目黒公郎氏(高33回)による「関東大震災から100年―国難災害に対する最重要課題とその改善へのヒント」と題し、講演をしていただきました。今年は各地で大きい地震が頻繁に発生しており、参加者の真剣な眼差しで聞き入る姿が印象に残る、正に時宜を得た講演内容だったと思います。

第3部の懇親会は来賓紹介、地元同窓会会長の林健幸氏(高34回)の祝辞、祝電披露と進み、関西同窓会会長の菅家大幸氏(高14回)のご発声により、会津清酒の花春で乾杯しました。6名の新入学生の参加があり、学生を各テーブルに振り分けたことで世代を越えての、より深い親睦が図られました。さらに終宴間際、サクソフフォン奏者・諏波花梨(すわかかりん・高62回)さんが飛び入りで3曲披露し、会場はこれまでになく盛り上がりを見せました。続いて学而会歌・凱旋歌斉唱は応援団OBの目黒雅之氏のリードで学而会歌・凱旋歌を熱唱。最後は参加者で唯一の会津中学卒業で最年長の寺木良巳氏(中51回)にご登壇いただき、ご挨拶と来年の再会を祈念しての手拍子による中締めで懇親会を終了しました。来年度は「令和6年4月20日(土)11時」上野精養軒を予定しております。多くの同窓生の皆様のご参加をお願い申し上げます。



懇親会で演奏を披露した諏波さん(上野精養軒)

関西同窓会

活動状況

幹事長 加藤 賢一 (高22回)

令和4年を中心とした活動状況を紹介する。さしものコロナ禍も収束の兆しが見えたところで3年ぶりの総会開催という嬉しい年度となった。

(1) 第30回総会

令和4年11月、会員21名、ご来賓5名の参加を得て対面にて開催。鈴木清一氏(中51回)の元氣なお姿に一同感動し、本部同窓会林健幸会長ならびに鈴木義祐校長から丁寧なご挨拶をいただいたことにはただただ感謝。安部井副会長(高28回)、星幹事長(高36回)、芳賀在京同窓会副会長、林中部地区同窓会幹事長(高19回)にも遠路お越しいただき、会員同窓生と熱く語り、交流を図っていただいた。3年振りの再会に歓びを共にする姿があちこちに見られた微笑ましい総会となった。

(2) 散策会

春は中止。夏は会津所縁の天王寺界限やたこ焼き店「会津屋」他へ。秋は京都嵯峨野を巡る。9名の参加があった。

(3) 定例懇談会、他

年4回予定の懇談会が久しぶりに実施できた。令和4年10月の在校生による京都黒谷・剣舞奉納激励には管家会長含め6名が参加した。

(4) 今後の活動予定

令和5年も11月に総会、年4回の定例懇談会例年通りの活動を計画している。ただ、御多分に漏れず会員の高齢化、減少は大きな課題となっている。



昭和8年、会津坂下町出身の遠藤留吉が創業。たこ焼きの元祖(令和4年7月14日)

中部同窓会

中部地区活動状況

会長 小林 秀明 (高15回)

中部同窓会としてはこのコロナ禍で特筆すべき活動はしていませんが、過去の活動と今後の活動を述べてみます。総会と芋煮会を2大行事として旧交を温める会として開催してきました。私が会長を引き受けてからは申し訳ない程低迷しており、我ながら心痛に耐えません。中京圏は物造りが盛んで母校の先輩、後輩たちが大勢活躍して居る処ですが、なかなか連絡が取れず苦労しております。総会には本部と関西同窓会から校長先生、同窓会会長方々と、会女からは会津の会長さんをお招きして盛大とは言い難いですが開催しております。母校と会女の近況報告で卒業生の進路報告等を拝聴するのが楽しみです。

私自身は高15回の卒業生ですが、現在の在校生の活動はこの総会時の校長先生のお話で知る程度ですが、高19回林さんがよく会津へ帰られるので土産話として「会津まつり」や会津の近況を聴く機会があり懐かしく思い出しております。

秋には会女OGとそれぞれの家族同伴で合同芋煮会を開催するのが楽しみです。立派なBBQハウスが在り会津時代の話題や現在の様子を語り合い、男達はアルコールが入って楽しい一日を過ごしましたが、現在はコロナ禍で休んでおります。

是非再会してまた会津の話に花を咲かせたいと願っております。

北海道同窓会

活動報告

幹事長 高橋 孝一 (高22回)

コロナ禍の昨年(令和4年)はランチ形式での総会・懇親会を企画し、何とか開催にこぎつけることができました。今年(令和5年)は5月20日(土)、札幌サンプラザを会場に通常形式で講演会を催し、感染防止に留意しながらアルコール付きの懇親会とする準備を進めました。

約30人が出席。講演会では高7回の酒井和彦さんが「札幌でホタルの飛ぶ里山づくり」と題して話してくれました。酒井さんは定年後、ホンジユラスの森林学校で指導。帰国後は北海道森林ボランティア協会を設立して長年、森の保全に尽くすと同時に、森林教室などを通じて児童や親子を啓発しています。

北海道同窓会の2023年総会・懇親会(札幌サンプラザ)



総会・懇親会には本校同窓会から福西正樹副会長(高32回)と星宏幹事長(高36回)、鈴木義祐校長(高34回)が初参加。北海道「常連」の千葉宏(高8回)、山口光彦(高30回)両先生もお元気な顔を見せ会話が弾みました。宴の終わりには久しぶりに校歌を斉唱して母校に思いを馳せました。4年ぶりの芋煮会は10月28日(土)に予定しています。

各支部からの報告

会津美里支部

4年ぶりに支部総会を開催しました

コロナ禍で自粛していた支部総会を、4月30日(日)食事処「宮廻」で開催しました。本校同窓会より、林健幸会長、星宏幹事長、千葉宏相談役をお招きし、31名の参加がありました。板橋信幸支部長(高25回)より、「対面での総会が開催できることが大変嬉しい」と挨拶があり、林会長からは「本校の入学生が男子を女子が上回った」



4年ぶりの支部総会が開催(食事処「宮廻」)

などと挨拶がありました。提案された議案はすべて承認され、役員改選では、支部長に五十嵐栄記(高27回)、副支部長に弓田秀樹氏(高25回)、鈴木直人氏(高26回)、坂内太郎氏(高27回)、監事に大井豊記氏(高27回)、江川正一氏(高28回)、軽木久一郎氏(高29回)を選出し、幹事長に田中隆史氏(高31回)が指名されました。

総会終了後、佐藤孝一氏(高21回)を講師に「禅庵ときんつば」と題し、大学勤務の傍ら、お母さんが築いた「きんつば焼き」を継承するとともに、手塚治虫の「ブツダ」に感動して仏教に興味を持ち、自宅を坐禅堂に改修し修行に励んでいるなど、お話をいただいた。その後の懇親会では、学校周辺には林檎畑があったとか、昔懐かしい話で盛り上がりました。また校門や学而会館の裏庭が整備され、大変明るい雰囲気になったことを報告すると、卒業以来足を運んでいないなどの声が多かった。是非機会を作って母校を見学してほしい、と和やかな雰囲気懇親会を閉じました。

支部長 五十嵐栄記 (高27回)

下郷支部

コロナ禍での活動状況

新型コロナウイルス感染症予防対策のため、多くの場面でリモートワークやオンライン会議など対面の機会を少なくするという、日常生活様式を大きく変えざるを得ない3年間を過ごしてきました。以前の支部活動では、会員親睦会、役員会、総会を開催していましたが、感染防止対策としてパークゴルフ大会後の懇親会と役員会を同時開催し、総会は書面開催として会員の承認を得るようになってきました。令和4年度総会において役員改選が行われ、支部長に佐藤仁夫(高22回)副支部長に玉川邦夫(高22回)が新たに選任され、同副支部長に我妻洋(高21回)が再任されました。

幹事長

湯田嘉朗 (高22回)

各支部からの報告

塩川支部

近況報告

令和4年度の塩川支部総会につきましては、3年ぶりに11月19日喜多方市塩川町の「粹旬」で行われました。来賓として同窓会本部から林健幸会長、星宏幹事長、隣接の湯川支部から吉田誠一支部長（高21回）をお迎えし、支部会員23名のもと開催されました。

物故会員への黙祷のあと、会津高校の校歌を斉唱し、野口富士夫支部長（高18回）の挨拶、林健幸会長、



3年ぶりの支部総会が開催（粹旬）

吉田誠一湯川支部長及び星宏幹事長の来賓祝辞が行われました。

議事につきましては、令和3年度事業報告及び決算報告、令和4年度事業計画及び予算が原案のとおり承認、決定されました。

総会終了後、例年実施しております本年度入学の新入生6人に贈呈する記念品（図書カード）については、郵送することとし、参加者全員による記念撮影の後、懇親会が盛大に行われました。

参加者は3年ぶりの懇親会で相互の親睦を深め合いながら、有意義なひと時を過ごしました。

幹事長 筒井弘（高25回）

河東支部

4年ぶりの総会

河東支部総会が4年ぶりに、本会から林会長、星幹事長をお迎えし、7月22日広田駅前「おおたや」にて開催されました。

支部長挨拶の中では、事業計画の中にある、河東学園からの合格者への記念品贈呈は、緋駒会（同窓会無尽）のご協賛により続けられてきたことに感謝する旨の報告がありました。林会長からは、故人となられた吉田尚武（高8回）会員との懐かしい思い出や、9月に開催される本会総会での記念公演などが話されました。総会は渡部恒信（高14回）議長のもと、令和4年度の内容が承認。令和5年度の事業計画、予算が審議



4年ぶりの支部総会が開催（おおたや）

され満場のご賛同を得て、決定されました。その他、支部の会員数について質問がありました。個人情報等の制約等があり、実数はつかめていない事を報告。その後、東海林先輩（高13回）の乾杯のご発声で祝宴に入り、盛会のうちに終了することができました。

支部長 笠井武彦（高17回）



4月11日、会津高校校長室にて河東学園中卒の新入生の激励会が行われました。鈴木義祐校長先生より河東支部からの記念品がそれぞれの生徒に手渡されました。

代筆・事務局長 半野裕務（高33回）

通信教育部同窓会

総会を終えて

会計 田中 恒一（昭和38年卒）

昭和33年3月に第1号の卒業生を輩出して、閉校となった昭和41年3月までに116名の卒業生があり、大学教授、市町村議員、公務員、中小企業経営者、会社員等々、さまざまな分野で活躍していましたが、それぞれ歳を取り次世代に道を譲り生活している中で通教関係の恩師は皆、黄泉の世界へ旅立ち、通教卒業生も32名ほどが旅立ちました。そんな中コロナで5年ほど逢える事の出来なかつた同窓会を、令和5年7月9日より1泊で、東山グランドホテルにて開催。わずか10名の出席でしたが、物故者に対する黙祷、小湊会長の挨拶、事業報告、会計報告後に役員改選は現行通り。そして、朝ドラ「らんまん」の植物学者・牧野富太郎のこぼれ話を、通教卒業生、農学博士、宇都宮大学名誉教授の谷本丈夫先生の興味ある話に時を忘れ、その後の懇親会まで及び、ゆきながら学んだ在学時代の苦しきとも、充実した楽しかった日々を忘れずに、さらなる親睦を深めました。

もう歳なんでも入って来る人もなく、そろそろ同窓会も幕を下ろしたら…の声に、「人数が減っても、こんな有意義な会合を止められない」と多くの意見により、続ける事になりました。

杖について、おめえだれだ？会が終わっての帰り、自宅より反対の方へ帰るようになったら困る…なんて云うのも、耳を貸さない楽しい同窓会でした。



5年ぶりの総会開催に10名が集まった（東山グランドホテル）

- 【会長】 小湊好広
- 【副会長】 永戸正昭
- 【庶務】 兼子 忠
- 【監査】 坂内久男
- 【会計】 遠藤永子
- 【監査】 田中恒一
- 【監査】 古川久英

阪波花梨
オフィシャルサイト



YouTube チャンネル



普通科から音楽の道へ。それは一見珍しいケースのように感じますが、合唱、吹奏楽部の活動が盛んな会津高校では、音楽の道へ進む卒業生が意外と多いです。今回はその1人、東京と会津を行き来しながらクラシックサクソフォニストとして活躍、そして今年と同窓会総会で記念公演を行っていた阪波花梨さん（高62回）にお話を伺いました。

会津高校を志願した理由

城北小学校で吹奏楽部に入りサクソフォンを始めたのですが、高校へ進学しても続けたいと考えていました。今考えれば県外へ出る選択肢もあったと思いますが、当時は会津地区での進学を考えていたので、この地域で吹奏楽が盛んな学校であった会津高校を選びました。当時から負けず嫌いな性格だったので、せっかくなら学力的にも1番の学校に行きたいという思いもありました。

高校時代の思い出

部活三昧の日々でした。朝練や昼練も自主的に行い、とにかく練習するのが楽しかった記憶があります。大会の曲に限らず、先輩方が残してくれた楽譜を部室から引っ張り出しては部員たちと演奏して遊んでいました。私が所属していた吹奏楽部はお昼休みに購買でパンの販売を担当していて、いつも部員の間などご飯を食べながらおしゃべりして楽しかったですね。

学校生活では、遅刻で先生に怒られてばかりでした。当時担任だった渋川先生の怒号が響く中、自転車ダッシュをしていました。他にも何人か毎朝会う常連？の生徒がいましたね笑。

普通科の高校を選んで良かったと思うこと

当時の部活は顧問の先生がピシバシ厳しく指導するという感じで

はなくて、幹部や学生指揮者を中心に活動方針を決めていて、生徒の自主性を大切にしている雰囲気でした。定期演奏会では演奏や演出のみならず、協賛企業へのご挨拶やパンフレット作成まで部員で分担して行っており、社会に出ても役に立つ経験を多く積めたと思っています。顧問の山ノ内先生には部活でお世話になったのももちろんですが、高校2年生の終わりに音楽大学の受験を決めて、受験に必要なソルフェージュ（楽譜を読む、耳を鍛えること）を中心とした基礎訓練を放課後に教えてもらっていました。普通科の学校では珍しいことだと思うのですが、感謝しています。

私は基本的に勉強があまり好きではなかったです笑、そもそも音大という進路を選ぶ上では会津高校へ行く必要はなかったんです。しかし卒業して30代になった今、色んな職種に就いている友人が周りにいて、志の高かった同級生たちが社会に出て活躍している様子を聞くことは刺激になります。それから、音楽活動をするにあたって私はいわゆるフリーランスなので、個人事業主として自分でやっていかなければなりません。音楽以外の事で同級生や先輩方にアドバイスをもらえたりお仕事を一緒にできるのは、とても心強く嬉しい瞬間です。

会津高校は授業や補習が多いです。実際部活や補習の合間に縫って楽器のレッスンの為に東京に通うのは、当時はあまり理解されず大変な面もありました。しかしそれでも、普通科から音楽の道へ行くメリットは絶対にあると思います。例えば高校から音楽系に進むと、専門分野の仲間しか周りにいない。それは、音楽に関わる面においては刺激的でとても良い環境だと思っています。けれど、もし音高・音大卒業後に違う分野の仕事に興味を持ったら、軌道修正が難しくなってしまうかもしれません。また、先に申したように普通科の高校で得た知識や経験、会津高校ならではの先輩方や地域との密な繋がりは、社会に出てから貴重な財産となります。そのような点でも私は、会津高校を選んで良かったなと思っています。

先輩たちへアドバイス

音楽関連の話になってしまいますが、会津という地域で音楽大学を目指す子は、会津の中では秀でているのだと思います。しかしどの専門分野でも言えることですが、会津の中で1番って言うのはあまり意味がない。東京へ出るともっとすごい人たちが出ているので、そのことにもっと早く気づけたら良かったな、と自身は後悔しました。高校まで音大へ行こうと思っていたので、県外の同世代の音楽イベントに参加

しようとか、全国レベルのコンクールに挑戦しようとするのも遅かったです。だから、積極的に外へ出て行動するのが大事かなと思います。

あとは、自分の足で会いに行くこと。私の高校時代に比べて、今は沢山情報が入ってくると思いますし、調べることも簡単に出ると思います。そこからどう行動に移せるかが差を生むと思います。例えば、私のYouTubeチャンネルに、学生の方からコメントで「どうしたら綺麗な音色が出せますか」などと質問が来る事があります。悪い事ではありませんがそれはやっぱり実際に体感しないと学べないものだと思うんです。本気で音楽の道に進みたいと思った時に、気軽にコメントを送るんじゃなくて、実際に演奏会に足を運んだり、レッスンをお願いする行動力があつたり。その上でネット上の情報だけで判断せずに、自分はこの音楽が好き。この人の音を目指したい。と自分の中で明確に思える子は将来有望な気がします。

卒業後に東京へ会津を行き来するようになったきっかけ

音大在学中や大学卒業したのち駆け出しの頃、演奏会や指導で会津に帰るたびに、会津高校の先生方や小学校の頃の部活の顧問の先生に会いに行っていました。その時に「地元で教えてみなよ」と仰っていたいたり、地元で教員をしている友人に呼んでもらったりし

クラシックサクソフォニスト

阪波 花梨

すわ かりん

(高 62 回)

<プロフィール>

福島県会津若松市出身。3歳よりピアノ、10歳よりサクソフォンを始める。福島県立会津高等学校を経て、洗足学園音楽大学卒業。サクソフォンを池上政人、福岡和男、宗貞啓二、渡辺健司の各氏に師事。室内楽を池上政人氏に師事。

第18回ブルクハルト国際音楽コンクール管楽器部門最高位。第16回大阪国際音楽コンクール木管楽器部門第3位。第22回 KOBE 国際音楽コンクール奨励賞。第14回ルーマニア国際音楽コンクール管楽器部門第2位。第6回下田国際音楽コンクール審査員特別賞。第20回、第22回浜松国際管楽器アカデミーにて須川展也氏のマスタークラスを受講。フィリップ・ガイスト氏のマスタークラスを受講。

HIBI ☆ Chazz-K アルバム「Jazz Chazz Classic」のレコーディングに参加。発売記念コンサートに出演。NHK BS プレミアム番組挿入歌「オハヨッシャ！」のレコーディングに参加。京都アニメーション「響け！ユーフォニアム」記念CDのレコーディングに参加。GVIDO MUSIC 株式会社主催 GVIDO IX のオーディションに合格。インターネットラジオ OTTAVA に一年間レギュラー出演。

2022年5月、デジタル限定アルバム『夢の色彩』をアールアンフィニ・レーベルよりリリース。日本演奏連盟、会津演奏家連盟会員。

若い世代が会津へ帰りたくなくなるような地域活動を

芸術分野から後押ししたいです



吹奏楽部の指導をするようになりました。あとは、3歳からピアノのレッスンでお世話になってきた白水堂さんが、東京から通うというイレギュラーなスタイルの私のために特別にレッスンを作ってくださって。今でも個人レッスンで指導しています。2020年からは、自己研鑽と会津のみなさまへの近況報告のような気持ちで、年一回ソロリサイタルを開催しています。ありがたいことに会津での演奏依頼なども増えてきて、とても嬉しく思っています。

サクソフォンとの出会い

クラシックサクソフォンの魅力
実は小学校の吹奏楽部では、最初の1年はトロンボーン担当でし

た。先輩が卒業してサクソフォンのがいなくなってしまうと移動したのがきっかけです。まさに偶然の出会いでしたね。

サクソフォンは新しい楽器なので、発展途上な部分があって、いまだに新しい奏法が生み出されたり現代曲と呼ばれる分野が発展を続けていたり、他の楽器に比べて柔軟性があるのが魅力だと思っています。もちろん、ヴァイオリンやピアノのように確立された、歴史ある楽器に対するコンプレックスや憧れもあります。だからこそ世間にもっと広めていきたいなと思っています。

サクソフォンはジャズというイメージが強い中、クラシックサクソフォンという分野に拘るのは何故なのか、自問自答した時期がありました。その答えは、まず自分自身が本格的に音楽を勉強していく中でクラシック音楽の魅力にどっぷりと浸かったこと。そして大学で尊敬する師匠に出会い、その音に憧れ続けていること。その師匠が最も大切にしている、クラシック音楽という異国の文化への尊敬の念を私も継承していきたいという気持ち強いことなのかなと思っています。偶然にしたサクソフォンという楽器ですが、この楽器を通して音楽のより深い部分に触れた事、その音楽を通して多くの才能あふれる音楽家と

関われるようになったことは、私の人生においての大きな財産だと思っています。

現在の活動と今後について

『自分の音』を持った音楽家になりたいと思っています。具体的な目標としては、先にお話ししたクラシック音楽作品およびクラシックサクソフォンの魅力を研究し続けること、多くの人々に伝えることです。さまざまな活動の中で、弦楽器とサクソフォンの調和に可能性を感じて、各地での演奏活動やCD制作など、特に力を入れて活動しています。ゆくゆくはソロでも、納得のいく音楽を形に残したいなと思っています。

福島県でも、同窓会のご協力を得ながらラジオ出演させていただいたり演奏の機会もいただいたりしたので、今後もイベントなどを通して演奏させていただけたらありがたいです。東京で学んだことを、地元を持って帰れたらと思っています。地元での橋渡しをお願いします。地元で受け入れてくださる方がこれからも増えると良いな。そう思って、同窓会つながりで色々な方とお会いするため、各所にご挨拶へ伺うこともあります。地元で会津高校出身ということで、皆さん親切にしてくださるので嬉し

◆阪波さんの活躍は、公式ホームページ、YouTubeからもご覧いただけます。ぜひチェックしてください！



素晴らしい景観が魅力の中田浜。ぜひお気軽にご利用ください



猪苗代湖中田浜、広がる砂浜と目の前には磐梯山の眺望。そんな風光明媚な場所に建てられたのが「学舎会館」です。OBたちの有志で34年前に建て替えられ現在の姿となりました。中田浜沿いを走ると遠くからでも2階建ての白い建物が目に見え込んできます。ここ数年は、在校生による中田浜強歩大会の休憩地として、主に活用されてきました。OBとして整備し、広く利用を受け入れる体制を整えている段階です。

長年、OB有志によって草刈りや建物のメンテナンスを行ってき

学舎会館でキャンプができる?!

ました。10年以上ほぼ整備のされなかった林部分は草木が覆い茂り枯れ木なども放置され、掘り起こすと沢山の不法投棄されたゴミを見つめます。新しく立て直した建物も湖畔の長い冬を過ごすたびに老朽化が進み、配管や外壁等の痛みが広がる一方です。建物に掛けている維持費は全て集まった寄付金によってまかなわれてきました。が、先細っているのが現状です。

皆さまからの寄付金は引き続き募る一方で、少しでも維持費のための利用料を確保したく、ぜひ皆さまに「学舎会館」をご利用いただきたくここに紹介させていただきます。キャンプや湖水浴の休憩場所、研修会場や子供会の会場としてなど、使い方は様々。ご利用方法は各SNSにて案内しております。

※オープン期間4月～11月

《管理人 中村》

公式 LINEアカウントを開設!

お問い合わせやご利用相談はこちらからどうぞ!

(QR読み取りで友だち追加できます)



施設運営と維持のため、寄付金のご協力をお願いいたします。ご入金には郵便局の払込用紙のご利用、もしくは下記QRコードからスマートフォンでも可能です。

《郵便振込の場合》

加入者名：学而さくらクラブ

口座記号：02280-6-112767

《クラウドファンディングご利用の場合》

QRコードを読み取り決済をお願いいたします。(※ご利用には会員登録が必要になります。)



会員各位
有志各位

令和五年 九月

〒965-0007

会津若松市飯盛三丁目一五―六〇 (FAX) 0242-2718920

同窓会幹事長 星 宏 (雑貨住趣)

〒965-0831

(FAX) 0242-2816680

(お問合せ先) 会津高等学校同窓会事務局担当者

※追記 二〇二二年一月十七日からゆうちょ振込取扱票を現金で支払う場合には一一〇円/件の料金が加算されますので協賛金より一一〇円を差し引いた金額をご記入の上お振込みください。ゆうちょ口座から支払いの場合、加算料金はありません。

⑦ 会報送付 振込者には振込時会計年度の同窓会報を送付。

加入者名 会津高等学校同窓会
振込者 自分の卒業回次・氏名・住所を記入

口座番号 0223012150230

⑥ 納入方法 所定のゆうちょ振込取扱票(振込料金を加入者負担)を使用する。

⑤ 協賛者名簿 直近の同窓会報に協賛者各位の氏名を登載する。

④ 納入期間 毎年七月一日から翌年六月三十日までを会計年度とする。通年受理する。

③ 協賛金額 金二〇〇〇円程度(一〇〇〇円でも可とする。もちろん、それを超えることがあっても可。)

② 目的・用途 同窓会運営のため一般会計資金とする。

① 名 称 会津高等学校同窓会年次協賛金と称する。

一、協賛金のこと

記

時下 ますますのご清祥のこととお慶び申し上げます。

同級生の皆様には、本会のために日頃からご尽力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、会津高校同窓会は、平成十七年度総会において「年次協賛金」が承認され、平成十八年度よりそれによって運営されております。今後とも、同窓生皆様の相互親睦、母校賛助、後輩育成支援等への熱意実現のため、左記によって「協賛金」を年次お願いして参りたいと存じます。

つきましては、同窓会の皆様並びに有志各位におかれましては、出費多端の折から甚だ恐縮に存じますが、協賛金のご趣旨をご理解いただき、ご芳志を賜りたくよろしくお願い申し上げます。

会津高等学校同窓会への
協賛金お願い趣意書

会津高等学校同窓会長
林 健幸